

# この地に(86)

地元、熊野高校を通じて、地域と学校について考えています。

筆都が育てる  
筆都を育てる

## 熊野高等学校

春は出会いの季節  
別れの季節



入学式

4月7日、熊野高校で第27回入学式が厳粛に行われました。入学式にふさわしい良い天気に恵まれ、保護者の方々に見守られながら、200名の新入生が沖井校長先生に入学を許可されました。

更に校歌を聴き、担任・副担任の先生方を紹介されると、熊野高校生としての自覚が芽生えてきているようでした。また、校訓である「友愛・誠実・勤労」の言葉をしっかりと心に刻み、新しい生活をスタートしようという意欲に溢れていきました。

渡辺友恵  
(熊野東中学校出身)

4月7日、熊野高校で第27回入学式が厳粛に行われました。入学式にふさわしい良い天気に恵まれ、保護者の方々に見守られながら、200名の新入生が沖井校長先生に入学を許可されました。

新しい制服に身を包み、

緊張しながらも夢と希望に満ちた表情で校長先生や、来賓の方々のお話に聞き入っていました。校長先生からは、「今日から熊野高校生として、自分の力を信じて諦めないで頑張ってほしい。」と、激励されました。

最初、僕はクラスのみんなと仲良くできるか不安でした。これから、いろいろなことに挑戦していきたいです。

私は、クラブと勉強を頑張りたいと思っています。熊野高校の三年間で、自分が本当にやりたいことを必ず見つけたいです。

立本亞希  
(熊野東中学校出身)

離任式

4月11日、前久保校長先生をはじめ3名の先生が退任せられ、その他9名の先生方が離任されました。その先生方から、「みんなの卒業を見届けることができないのはとても残念だが、いつも応援している。目標をもつて頑張ってほしい。」と、別れを惜しみつつも、みんなに力強いエールを送ってくださいました。

くまの俳壇

熊野俳句同好会

【熊野婦人俳句会】

川沿ひの暮しが見えてあたたかし  
落葉踏む音とはならず濡れてをり  
椿みな波に背むけし岬かな  
童唄待たるる雛の目の細し  
亡き夫の椅子に猫ゐて冬ごもり  
子供等の絵手紙講座春の雪  
山芙蓉の花の明るき花道展  
おもしろき草々の花や蝶を追ひ  
猫柳呆けし儘に天指しぬ

【西公民館俳句グループ】

廃屋にポスター貼られ山椒の芽  
軒先の鳥籠うつる春障子  
春耕のつかず離れず鳥一羽  
本棚を整理終えたり冬籠  
朽ちかけの古木の梅の白さかな  
道祖神離のあられの供へらる  
窓越しにすすめ見てゐる春の風邪  
草を焼く煙の匂ひ鍬始  
水蓮の池の薄氷解けにけり  
川岸に慰靈碑あまた草萌ゆる  
火を落す鍛冶屋の上を鳥帰る

これはA氏の戦争中の俳句である。一読、むごい景もある。これが、戦地の実態である。

凍解の塩吹く大地にしやれこうべ  
夏川やさだめまき身をもたれあふ  
野薙や敵弾頭蓋を割し音  
三句目は、隣りにいた戦友が一発の銃弾によつて、戦死の景である。

今、中東がきな臭い、戦争はゲームではないのであり、人の生命の奪い合いであり虚しい。平和を大切にしたいものである。

木喜進	南関荒尺長渡別西	工藤久保田
村花藤村村谷田山辺府村	藤谷	藤久保田
里風子美鈴美里	柳法文藤柳	義子
木喜進	せせせ	しづ恵
村花藤村村谷田山辺府村	子	よしえ
里風子美鈴美里	子	真理子
木喜進	江代絵子	子
村花藤村村谷田山辺府村		信子
里風子美鈴美里		啓文
木喜進		土野
村花藤村村谷田山辺府村		大堀
里風子美鈴美里		立阪
木喜進		西